



■ 障害者支援施設ウインドヒル 香川県高松市三谷町3851番地 TEL050(3734)6707 TEL087(888)4277 FAX 087(888)4278 ■発行日2012年5月18日

男性6人・女性3人の定員9人のケアホームです。

■社会福祉法人 ポム・ド・パン発行



平成24年4月から新体系移行に伴い、『知的障害者更生施設ウインドヒル』から『障害者支援施設ウイン ドヒル』に名称が変わりました。また同時に共同生活介護事業、『ケアホーム風見の家』が開所しました。 地域の社会資源として知的障害者の福祉の邁進にあたるとともに、地元の方たちからも愛される施設を目指 して頑張っていきます。

ά**β**ά μά αλμά**β**α μα αλμά**β**α μα αλμάβα μα μά κα αλμάβα μα αλμάβα μα αλμάβα μα αλμάβα μα αλμάβα μα αλμάβα 平成24年4月【社会福祉法人 ポム・ド・パン ケアホーム 風見の家】が開所しました。

利用者の一人が『ウインドヒルの時も新品の部屋だった。また、今度も新しいまっさらの部屋や!新 しいんはええのう』とにこやかに、一言。とてもキラキラとした瞳で笑顔が印象的でした。

現在は、8名が共に協力をして、共同生活を営んでいます。障害を持った利用者が、自ら、『僕は、 何をしましょうか』と発した時、自然体の共同生活が、今、まさに動き出した感触を覚えました。

支援員・世話人さんは、決して多くは語らずとも、適切な言葉かけで利用者を支援し、ひとり一人の 障害の個性を見定めつつ、付き合っています。

何歳になっても成長する。出来ることが増える。自立に繋げる。その根底には、関わる人の『支援の 継続と一貫性』が必須です。この言葉を法人の理念と掲げて、職員が一丸となり、利用者への福祉サー ビスの向上に日々努力を継続しています。

今後とも、関係者の方々のご指導、ご支援をよろしくお願い致します。 松原 正子

 ϕ

第8号 ポム・ド・パン

成長の軌跡 PART③

3回シリーズでお伝えしてきた成長の軌跡も今回がいよいよ最終回です。今回は山登りの特集です。最初のころは隊列についていけない利用者がいたり、座り込んでしまう利用者もいて、なかなかみんなで登ることが出来ませんでした。しかし今では皆さん山登りのコツを習得されたようであり、初めて引率する職員などはついていくのがやっとです。







【山登りについて】

平成22年2月より、定期的に近くの里山に登っています。山登りを通して体力作りや挨拶などの社会性を学ぶのはもちろんのこと、あえて足場の悪い道を自らの足で歩くことで、考えながら一歩一歩登っていく(下っていく)ことに繋がります。また石や木の枝などを踏むことにより足の裏が刺激され感覚が鋭くなっていきます。ウインドヒルでは療育の一環として山登りを取り入れています。







【ボウリング大会】

2月17日、丸亀スターボウルで行われた、平成23年度施設交流ボウリング大会にウインドヒルから6名の利用者の方が参加しました。259点で男子個人で2位になった利用者の方がいました。施設で定期的に行っているボウリングの練習の結果が発揮されたと思います。

ウインドヒルの主な活動報告

◆4月2日 自閉症啓発デー



【パレードとリーフレット配りを実施】

4月2日は国連の定めた『世界自閉症啓発デー』です。香川県庁から田町商店街を通り一番街、高松市役所までパレードを実施しました。一番街ではリーフレット配りを行いました。当日はたくさんの通行人の方に自閉症を理解してもらおうと啓発活動を行いました。

毎年、『世界自閉症啓発デー』 では、全世界で、自閉症を理 解してもらう取り組みが行 われています。

また4月2日~8日までの 期間、発達障害啓発週間と なっています。

◆地域交流



【水仙ロード散策】

3月28日、地元三谷町のリフレッシュクラブの皆様といっしょに綾川町の水仙ロードの散策に行ってきました。当日は穏やかな小春日和で、それぞれ春の香りを満喫してきました。



◆ウインドヒルの作業紹介コーナー







【オリーブの種抜き作業】

4月より、新たにオリーブの種抜きの作業が始まりました。種抜き器を使い、オリーブの種をくり抜き、種についた身を取り除く作業です。種を取ったオリーブの実は(株)チアフルカンパニーさんが『オリーブおこわ』に加工しています。兵庫町の店舗で真空パックでお求め頂けるほか、茜町の「Cafe CHEERFUL」でランチとして食べられます。真空パックですので保存食にもおすすめです。ぜひ一度ご賞味ください。

【原木椎茸の菌植付け作業】

今年も裏山からクヌギの原木を切り出し、椎茸菌の植え付けを行いました。今年植えつけた原木は、ジメジメとした日陰に置いておき、再来年の秋より椎茸が生えてくるようになります。

ポム・ド・パン 第8号

「ケアホーム 風見の家」開所へ

平成24年4月より『ケアホーム風見の家』が開所しました。法人設立当初から、施設入所支援だけではなく、 地域社会の中での生活にも目を向け、利用者に応じた幅の広い福祉サービスの提供を目指してきました。そ のような中、『ケアホーム風見の家』の開所は保護者・関係者また当法人の願いでありました。





●落成式当日は地域の方も多数参加して頂きま した。



●全室南向きで日当り良好です。



●広々したリビングはいつも笑いが絶えません。

▶風見の家の概要

ケアホーム 風見の家 事業所名 事業所番号

3722000233

敷地面積 延床面積 3,177.89m²

利用対象者

250.61m² 知的障害者

定 員

名前の由来

「ウインドヒル」の由来は「希望の風が吹く丘であり続けて欲し い」という想いから名付け、そのような希望の風が吹く丘をい つまでも見守っていたいという想いから「風見の家」という名 前になりました。



◆なぜ、ケアホームとグループホームの別建ての制度になっているのか? ── 【介護】 と【援助】 の違い

	ケアホーム→共同生活介護事業	グループホーム→共同生活援助事業
障害者程度区分による利用案件	「区分2」~「区分6」が入居	「非該当」と「区分1」の判定者が入居

▲★「ケアホーム 風見の家」落成式を行いました





4月17日(火)にウインドヒルの地域交流棟で「ケアホーム風見の家」の落成式を行いました。地元三谷町の地域の方や、関係者、保護者など約80名の方にお越し頂きました。また風見の家、ウインドヒルの利用者も式典に出たしました。この日を迎えられたのは、たくさんの方のご理解とご支援の賜物によっつ後とも障害者福祉の邁進だけにとどまることなく、地域に根差した社会福祉施設として地元に貢献できる施設を目指していきます。

後援会よりお祝いを頂きました



風見の家の屋根西側に風見鶏が見守っています。毎日、希望の風に吹かれて元気いっぱい回っています。ありがとうございました。

保護者会よりお祝いを頂きました



南側のフェンスに『ケアホーム風見の家』のプレートを頂きました。道路からでもすぐわかるようになり、地域の方に愛される施設になっています。ありがとうございました。

ケアホームでの生活が始まり、約1ヶ月が経過しました。引っ越した当初は利用者の皆さんは不安と期待からか、ニコニコしながらも、どこか戸惑いのようなものを感じていました。しかしスタッフのそのような心配事など1ヶ月もすればどこかに行ってしまいました。「今日の食事の当番は〇〇さんだよ」「〇〇さん、僕、野菜切るの手伝います」など今では利用者同士声を掛けあって、楽しく生活をしています。『風見の家』 世話人のコメント



今までの入所施設では、自分たちは何もしなくても、食事は決まった時間に厨房より運ばれてきていました。しかし、ここ風見の家では自分から率先して働かなければご飯を食べることが出来ません。そのような環境の中、人から期待される喜びや役割を持つ。各自が責任を感じ身を持って体験することで、利用者の自信につながっているのではないかと思います。また自閉症の障害特性である独自の強いこだわりも、利用者同士が一緒に生活を作っていく過程で、相手の言い分を聞く、相手のペースに合わせることで、その利用者自身の強いこだわりも薄まっているような気がします。『風見の家』 生活支援員のコメント

第8号 ポム・ド・パン

【平成24年度社会福祉法人ポム・ド・パンの取り組み】

4月1日から知的障害者更生施設ウインドヒルは、新体系移行に伴い、障害者支援施設ウインドヒルに変わりました。障害者支援施設は障害者自立支援法基づく社会福祉施設であり、主な変更点は入所型施設においても「日中」の活動と「夜間」の活動を明確に区別するという点であります。

障害者支援施設ウインドヒルでは「日中」の活動として、

①生活介護事業、②就労継続支援 B 型事業の福祉サービスを提供し、「夜間」の活動として施設入所支援事業を行います。

また同時に4月より新たに共同生活介護事業をスタートし、ケアホーム風見の家を開所させました。従来の入所型の施設を運営をバックアップ施設に共同生活介護事業を展開することににより、より手厚く、選択肢の多い福祉サービスの提供が可能となっております。なお短期入所事業(ショートステイ)においては、昨年度からの変更はありませんので、今まで通りご利用頂けます。

【障害者支援施設ウインドヒルの提供福祉サービス】

「日中」の福祉サービス………1**生活介護サービス**

②就労継続支援B型サービス

「夜間」の福祉サービス……**施設入所支援サービス**

【ケアホーム風見の家の提供福祉サービス】 共同生活介護サービス

職員コーナー

「利用者の思いを受け止めるために」

適切な支援、適切な環境、適切な一貫性の関わりがあれば、利用者は何歳になっても成長すると教えられました。私がウインドヒルで利用者と関わってきた中での実感であり、確信でもあります。

言葉がない為に自分の思いを伝えられない人。

言葉はあっても自分の思いを正しく伝えられない人。

その為、利用者は本人なりに表現方法を考えて一生懸命伝えようとしてくれますが、そのサインが 周囲には気付きにくいような、とてもとても小さなものであったりします。

しかし、日々利用者と関わっていくと、表情、身振りに小さな変化があるのが分かるようになりました。利用者は、時に、激しい行動を取る事もあり、驚かされる事もありますが…。

しかし、利用者はいつでも私たちを信頼してくれているからこそ、一生懸命伝えようとしてくれているのだと思います。私たちはその利用者のそのような思いを受け止める責任があります。

研修の報告・

ウインドヒルでは利用者の生活の質の向上のため、支援員は積極的にいろいろな研修に参加しています。自閉症の障害特性から、支援者には専門的な知識や支援技術が求められています。

●平成23年2月24日、3月5日、3月8日

平成23年度障害者虐待防止研修 主催 香川県

県下の他の施設の職員との研修を通し、日頃の支援などについての意見を交換しあい、権利擁護の意識を高めることが出来ました。これからは権利擁護の意識をより高め、利用者の生活の質の向上につなげていきたいです。その他、下記の研修にも参加しました。

『平成23年度社会福祉施設等職員採用内定者研修会』

『平成23年度香川県知的障害者福祉協会授産部会研修会』

『平成23年度香川県民間児・者福祉施設振興会県外施設視察研修』兵庫県社会福祉事業団視察

【実習生を受け入れました】

平成24年3月5日~3月21日(内12日間)、四国福祉専門学校より保育実習生1名を受け入れました。実習を通して自閉症とのコミュニケーションの取り方や障害特性などを学んで頂きました。

【施設見学に来られました】

2月23日、愛媛県西条市に ある社会福祉法人聖風会知的 障害者(児)施設東予学園から7名の方が見学に来られま した。当施設の自閉症を持つ 人たちへの療育実践やユニット支援について熱心に見学されていました。

【開所8周年を迎えました】

12月13日はウインドヒルの開所記念日です。開所8周年を迎え、利用者の生活も安定し、また8年間いろいるなことにチャレンジし続けてきた結果、利用者の生活の幅がより豊かになって来ました。今般、障害者福祉を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、利用者の方たちはゆっくりではありますが、着実に成長し続けています。

嘱託医の診察



●平成24年度より嘱託医が三光病院の星越克 彦先生に変わりました。よろしくお願いします。 (4月25日 診察の様子)

歯科検診



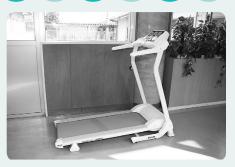
●今年度も引き続き、しん治歯科医院のご協力 のもと、丁寧な口腔内の検診を実施しています。

ご寄付を頂きありがとうございました

利用者の健康管



◆香川県共同募金会様
平成23年12月13日
デジタルハイビジョン液晶テレビ42型



◆高松グリーンライオンズクラブ 様 平成24年3月28日 ルームランナー

社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページをリニューアルしました!!

当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので是非ご覧ください。スマートホンでは右のQRコードから読み取れます。



社会福祉法人ポム・ド・パン

アドレス:

http://www.pomme-de-pin.or.jp/

ウインドヒル『地域交流棟』を利用しませんか

100名程度の研修会などに使用できます。スポーツにも… 卓球台を備えています。ダンス、舞踏や音楽練習などに使用できます。利用料は無料。エアコン利用の時のみ、光熱費として 1 時間につき 500円必要となります。

間合先:障害者支援施設ウインドヒル TEL:087-888-4277 050-3734-6707





社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員(敬称略・順不同)

後援会コーナー

◆個人会員 平成23年度 (平成23年12月1日~平成24年3月31日にご入会くださった方)

松下 静江 磯部 康子 小川 直美 深井 一恵 鈴木 鈴子 保本ふさ枝 森永 政子 宮武 里美

◆個人会員 平成24年度

三好美千代 白井 徳子 牳 国広 龍兵 良子 鎌田 泰明 堀 寒川 秋田 徳永 和田 松本ミサ子 給木 克幸 鈴木 裕子 鈴木幸太朗 仁美 炒子 晶子 紋子 能之 白井 麻美 安倍 真美 福本 金川 恵子 金川 大介 空本 松尾 額田 松村 金川 謙二 一裕 和田 則昭 和田真由美 竹田 美香 吉坂 鹿庭 平川芙美子 安田 美佳 高嶋 頼 吉村繁三郎 吉村 和子 松原 近藤 豊子 智子信二 谷川 聡 博雄 文男 三好 松原 谷川 博彣 谷川 桂子 田岡 近藤 好 伊賀 梶原由紀子 宮武 孝宏 川井 浩三 杉崎 行春 松下 学 松下 綾子 鉛木 幸市 渕崎 輝一 石元 信子 宏文 山本 昭二 昭子 高木美枝子 知子 悦子 斐 幸恵 田中 輝明 善則 豊島 桑田 山本 真鍋 安藤 敏典 佐光 三谷 純子 今滝 宮﨑 美知子 安西 秀雄 安西 敦弘 大橋 深井 一恵 宮﨑 歩 黒嶋 正子 政美 坂口 光政 宮﨑 光 岩部 雅人 安藤美智子 秀夫 悦子 三木 冨田 大橋美由紀 竹内 俊介 大熊 塩本 細川 スミ 隆文 中山 節子 弘子 坂口 麗子 和代 中野真貴子 静江 藤田 宮﨑 成 藤本 俊介 共子 安藤 洋子 朋子 土居 トエ 利政 小西 新名 義隆 新名 義弘 ΤË 三好喜久子 杉原由美子 保本ふさ枝 片桐 山下真理子 大西利喜子 東川 里美 藤田 森永 建男 片桐 政子 松本 正晶 泉 竜平 幸田加津子 湯浅美智子 吉田 遥 大内知代美 高木 石丸 高橋由佐子 横井大西 和子規子 石本 寛文 大矢三千代 正章尚昭 武田 坂本 安部 友紀 中川 英世 横井 孝司 猪塚 和子 猪塚 高山 照子 村尾スミ子 崇香 鶴見 弘子 松木 三木 珠子 勝 山縣 東川 貴洋 厚子 美浦 称一 鶴見 蜫 沂藤 白川 勉 依子 豊 朝日 茂巳 安原 真理 安原 隆司 山本 勝博 中井 義昭 後藤見知子 後藤 博幸 後藤加代子 河北 光顕 三好 紀子 増田 泰子 藤川 石井 寬 山西 明 山西 大介 真鍋 康徳 福田 宣央 長尾 博子 由紀 学 西形菜々美石井 博文 容三浩二 之人 子 松川 和 愛川 愛子 幸子 一夫邦子 喬善 瀬谷 西形 穰 西形 涼子 伊豆野美代子 畠山 進 畠山 山地 明美 藤田 藤田美代子 昭一 大川 松本知恵子 内園 兵頭 政菊 青井 藤田 真嶋 美彦 築山

◆団体会員

(有)雄興業

アキ・ダンス・スタジオ ㈱百十四銀行空港口支店 (有)久間薬局 (株)たまも

(株)一陽パック (株)ウェイ企画 四国旅客鉄道㈱ (株)合田工務店 ツツミ医院

(株)生コン輸送 (株)トミタ (有)香南鉄筋 (株)ミネック ホワイト印刷(株) 有高島産業 (株)遠藤米穀店 ㈱共同ガス ㈱ムーミー

平成24年4月1日~平成24年5月7日現在 の方々にご入会頂きました。 5月8日以降にご入会の方々のお名前 は次号の会報に掲載させて頂きます。 本当にありがとうございました。

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支 援施設「ウインドヒル」とケアホーム「風見の家」をサポートしています。

今後長期にわたり、利用者一人ひとりを大切にした理想的な療育を 行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、多くの方々のご支援 が是非とも必要なのです。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン 口座番号 後援会」にご入会下さいますようにお願い申し上げます。

年会費

個人会員 一口 3,000円 団体会員 一口 10,000 円

ご入金方法

郵便振替口座(料金加入者負担)

01690-3-74305

口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

保護者会コーナー

ているという情報を教えて頂き、見学先二十三年度より新事業体系に移行された際、松原施設長よりふじみ園が平成月の役員会で研修旅行先を検討してい施設見学に行って来ました。丁度、十 楽しい時 行われ、 ました。 顔を見つけては懐かしく声をかけたり。るのを見学したり、居住棟では、知っ 送れるよう保護者も協力をしてい支援のもと、子供達が安定した。 手作りで一つ一つ作成して だきました。 系への移行 学校からの施設見学で一度訪問した事は以前、子供が養護学校に通っていた頃、 と思います。 移行になりま 業に対する熱心な姿に感動しました。 て根気のいる作業を見学し、 かった事も多く、大変参考になりました。 来られる事や、 わり と思い見学先に選びました。 様子なのか興味を持ち、ぜひ訪問した ありましたが、 午後 また、 ¥りが多いためボランティアの方が沢・利用者や職員の状況や地域とのか・施設内を見学する前に、園長さん・ !選んでみてはどうか、という事になり 今年度よりウインドヒルも新体系に その後施設内を回り、作業を行って 改めて教えていただき、 い時間を過ごすことができました。 のもと、子供達が安定した生活を 年、 が、 から + 陶芸小屋では、干支の置 屋島にある料で いしい料理と共に、 の考え方などを説明していた 月十六日香川県ふじみ園 らしたが、 現在のふじみ園がどんな 見学の目 施設職員の方々の 日的である新体ィアの方が沢山や地域とのかかん、園長さんよ 将亭ゆずりの親睦を兼 ている工程を見干支の置物を 私自身知らな 皆さんの作 ゆずりはで 皆さんと りたりし知ったり きた

保 護者会研 .参加

メリー♀ (年齢非公開) 2006年12月にウインドヒ ルに来ました。

編集後記

近年、障害者をめぐる動向は目まぐるしく変化しています。ウインドヒルも設立当初は知的 障害者福祉法に沿い設立しましたが、この4月より障害者自立支援法に合わせて新体系に移 行しました。そして数年先には障害者総合福祉法に合わせて、体系を変えていかなければなり ません。

そのようにめまぐるしく法制度が変わっている環境の中、利用者たちはゆっくりと、着実に 成長してきました。開所から8年間の間、謙虚に利用者と向き合ってきた結果だと思います。 法制度がいかに変わろうとも、福祉の原点が変わるものではなく、どのようなときも福祉の原 点を忘れてはいけないと思います。



干干平 2006年1月生まれ。



「ボム・ド・パン」とはフランス語で松ぼっくりという意味です。「ウインドヒル」の建つ丘には、時折、松ぼっくりが転がっています。松ぼっくりは、 松の木の生命である種子が住んでいるお家です。ここで種子が大切に育まれ、また、次の命を生み出していきます。一年中縁の葉をつけ、砂地でも荒 地でもしっかり根をはり、大きく枝を広げている松。その生命をしっかりと包み込んでいる松ぼっくり。「社会福祉法人ポム・ド・パン」も強く・た くましく・大きく、そして、小さな一つひとつの生命を育む暖かな場所なのです。